

# 薬学生実務実習委員会 議事録

記録日	H31年2月12日
記録者	佐貫 佳子

日時	H31年2月6日(水) 19:20~20:20	出席者	伊藤、岡、野口、三島木 山本、佐貫
場所	富士薬局 待合室		

## 議題

1. 集合研修について
  - ①スズケンの卸の見学
  - ②イオン店でのセルフメディケーション実習
  - ③その他
2. 引率について  
実習依頼書も含めて
3. 費用の受け渡しについて
4. その他

## 会議内容

1. 集合研修①、②について戸田エリアとして実地するかどうか？  
いくつかの大学の意向を確認したところ、参加型とはいえ、学生が行った実習対して感じたり、考えたりすることができるものであれば、出来る範囲で行ってもらって構わないという回答あり。地区で考えてもらっていいとのこと。  
今までのことを考えて、この2つの実習については学生さんにもそれなりに実りあるのではないかと判断。継続することとする。大学にはきちんと集合実習することを報告する。  
スズケンさんの方は今まで通り伊藤先生にお願いすることに。  
イオンの方は佐貫が管理薬剤師の菅先生に再度実習依頼することに。  
③については薬剤師会がかかわる行事で実習生さんが参加可能なものを随時佐貫まで連絡して頂き、受け入れ薬局にお知らせして、実習生の意向を確認の上参加希望を募ることとする。
2. 引率について  
今回の実習より指導薬剤師でなくても引率は可能となるが必ず報告は必要となる。  
このことを考えると実習の意図をきちんと理解している人の引率が必要となることから、原則はやはり指導薬剤師が引率することとする。ただし、何度も行っているスズケンの実習・イオン店での実習などは受け入れ薬局の指導薬剤師以外の薬剤師で付き添いの希望があれば自身の勉強もかねてお願いすることも良しとする。もちろん、報告もきちんとしてもらう。  
今後、引率が必要な実習に関しては、必ず指導薬剤師が引率する薬剤師に依頼書を送り、報告を受けることとする。この依頼書は伊藤先生に作成をお願いする。
3. 費用の受け渡しについて

費用の受け渡しは今まで通り各薬局間で行う。

#### 4. その他

小委員会の開催は各期の間隔が短いため、何か必要なことが起こればその都度開催することにする。特に何もなければ、Ⅲ期終了後に開催し、情報交換や意見交換を行う。

### 決定事項

- 1、今まで行っていたスズケン卸の見学実習、イオン店でのセルフメディケーション実習は継続して行う。
- 2、薬剤師会を通して参加できる行事に関しては、実習時期によりいろいろ異なるが出来る範囲で委員長の佐貫までお声掛け頂き、受け入れ薬局にお知らせして実習生の希望を確認の上参加してもらう。
- 3、受け入れ薬局以外での実習に関しては付き添いを必要とし、原則指導薬剤師が付き添うこととする。この際、付き添いの指導薬剤師にはきちんと依頼書で依頼し、実習終了後は付き添いの指導薬剤師は報告書を作成する。  
また、一部の実習については希望があれば指導薬剤師以外の薬剤師も付き添い可能とする  
この場合も同じように依頼書で依頼し、付き添いの薬剤師は報告書を作成する。
- 4、費用については今までと同じで各薬局間で受け渡しを行う。  
1回の付き添いの費用は5,000円。
- 5、小委員会は必要に応じて開催する。Ⅲ期終了後は開催し、情報交換、意見交換を行う。

### 検討事項

- 1、エリア長からも話があったとおり、戸田だけでく川口・蕨・戸田で連携して合同で行える実習の検討
- 2、薬剤師会と連携して実習生が参加できる事業